

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 3月 20日

事業所名 発達支援センターますと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		構造化された空間を心がけるとともに療育内容に分けた部屋の使い方をしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		通常の職員に加えて、お子さんの発達ニーズに合わせて外部講師を招いています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		視覚的支援・主体性をはぐくむためのスケジュールボードをはじめ、お子さんがのびのびと活動できるように配慮されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルは、個別支援計画を実施する中で強く意識して、おこなっています。職員ミーティングの中で活用しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		10月中旬より開所し、まだ4か月程度ではありませんでしたが、アンケート調査にご協力いただき、業務内容を見直しをさせていただきました。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページおよびマイページ『活動記録』に掲載します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を紙面で受ける準備を進めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		確保しています。自身が担当する療育に関係するものだけでなく、特性に対する基礎研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの権利条約を遵守しつつ、専門性を生かした利用計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用しています。病院を通していただいた検査結果だけでなく、事業所内でも新版K・WISC-V S-M社会生活能力検査等多様な検査を必要に応じて行い、発達特性の把握ができるようにしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当が中心になり行っています。イベントに関しては会議の中で検討します。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		豊富な教材を常に研究してもらい、固定したカリキュラムにならないように努力しています。 保護者様からのコメント： たくさんプログラムを用意していただいでいつも勉強になります。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇中は平日では体験しにくいイベントを準備、放課後はゆとりをつくり、心理的ケアにも配慮した支援を提供しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		一人一人の個別・グループにわたった計画があり、それに従って一週間のメニューを作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングと療育ソフトを使用し、確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りの時間がなかなか取れないのが悩みです。活動記録を各自記入してもらい、その中で必要のあることについてミーティングの中で取り上げています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		徹底しています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング時期を個別支援計画に明記し、それに従いモニタリングを行うとともに、日々の活動の中でも達成状況を確認するため、提供記録を複数の目で確認して判断するようにしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインの内容だけにとどまらず、保育所保育指針・学習指導要領自立活動編とも連携した内容の個別支援計画を作成し、支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		1か月ごとの予定を学校よりいただいています。また、日々の連絡調整は電話で行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			開所して間もないため、就学前の施設との情報共有は行っていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				小学校5年生までのおこさんが在籍しているのでこういった支援は行っていません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			福島県発達支援センターからドクターと3名の心理師さんが来てくださり、意見交換をしたり、研修会に参加したりしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			児童館はありませんがプリンスウィリアムズパークという子どものための施設があり、そこにはできるだけ出かけて、一緒に遊ぶ機会を設けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		まだ、お声がけいただいておりますが、ぜひ参加したいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			毎日4枚の写真とともに保護者の方のマイページに送らせていただいています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			今回、茶話会の中で「学校ができること、できないこと」というテーマで講師をお呼びし、講話をお願いしました。ペアレントトレーニングはファシリテーターの有資格者が3名いるので今年度は春と秋の2回実施予定です。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用契約時に、説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時、そしてマイページ・ラインなど保護者様に合った形で助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			10月開所のため、まだ1度しかその機会がありませんが、できるだけ力を入れていきたい活動です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			マイページ、ラインからの連絡はその日のうちにお返しをしています。申し込みがあった時は、できるだけ迅速に連絡しています。また、契約の際に丁寧にご説明しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ソフトの中に「活動記録」があり、それを使って皆さんに情報をお伝えしています。

正等	35	個人情報に十分注意している	○		気を付けて2重の確認を行うようにしました。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		一番わかりやすい方法でコミュニケーションが取れるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		行事への招待はまだありませんが、今後きょうだい支援も含め、地域に開かれた施設運営を行いたいと考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			避難訓練を実施し、ホームページ・活動記録でお知らせしています。また、緊急時マニュアルはいつでも誰もが見えるところにおいて周知を徹底しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			開所からまだ日が浅いため、十分とはいえませんが、今後はBCPにもとづく訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		担当職員を中心に研修を行っています。	自分自身の振り返りができるように各職員に「振り返りシート」を渡しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		動きが激しく、それが必要となるお子さんの保護者様には必ず了解を得るようにしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に聞き取りを行い、指示に従った形で対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングで振り返りをおこなうとともに、ヒヤリハットは積極的に記入する習慣をつくっています。	

